

総合プロデュース

中野 雄



The 5th WORLD PEACE CLASSIC CONCERT

～華麗なる協奏曲の夕べ～

音楽監督・指揮
新田 孝



ピアノ
草 冬香



ピアノデュオ
藤井 隆史 & 白水 芳枝



ヴァイオリン
尾池 亜美



ピアノ
小林 夏菜美



オーケストラ

NIPPON SYMPHONY

Program

ベートーベン: ピアノ協奏曲 第3番 [小林 夏菜美]

ベートーベン: ピアノ協奏曲 第4番 [草 冬香]

パガニーニ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 [尾池 亜美]

メンデルスゾーン: 2台のピアノのための協奏曲 ホ長調

[デュオール/藤井 隆史 & 白水 芳枝]

2015年 4月 22日 水

18:30 開演 | 17:45 開場

東京文化会館大ホール



- JR上野駅・公園口(山手線・京浜東北線・常磐・成田線、常磐線・高崎線・東北本線)
- 東京メトロ上野駅7番出口(銀座線・日比谷線)
- 京成上野駅・正面口(京成線)

SS席(指定) 7,000円 S席(指定) 6,000円

A席(指定) 4,000円

主催: NIPPON SYMPHONY 孝遊会(新田 孝 後援会)

後援: 日興協会 日興文化協会 岡山市 (株)ヤマハミュージックジャパン

協賛: ANAV (株)セキツウ (株)デザインK (株)アクト・ユートラベル

特別協力: ミリオンコンサート協会

協力: ACT4 (株)SPプランニング T&N企画 コンサート・ラド

チケット: 東京文化会館チケットサービス TEL 03-5685-0650

お問合せ: NIPPON SYMPHONY mobile 090-6927-3447

e-mail: nipponssymphony@docomo.ne.jp

◆ ニッポン・シンフォニー

Nippon Symphony, Orchestra

東京芸術大学教授をはじめとするヴィルトゥオーゾ及び著名コンクニール入賞者を含む若手精鋭プレイヤーによって構成され、格調と熱気の演奏で知られている。私たちは、永遠に偉大な曲として光芒を放つ作品の最高の形式で最高の内容を注ぐこと、そして技法の完成を超越した境地、すなわち音楽にそなわる生命の力を表現することを目標としながら、演奏者と聴衆が一体となり作り上げるという本来の意味のコンサートを実現し、生の雰囲気と充実感を味わって頂けるように努力しております。

総合プロデュース / 中野 雄、音楽監督・指揮 / 新田 孝による一流ソリストとの新企画、(華蓮による協奏曲のタペ) (第6回公演 2015.9.25 ロシア・プログラム東京芸術劇場コンサートホール) は毎回絶賛を浴びています。

◆ 新田 孝

Takashi Nitta, Conductor

岡山出身、東京都在住、東京芸術大学音楽学卒業、東京交響楽団(音楽監督)秋山和朗、新日本フィルハーモニー交響楽団(音楽監督、音楽指揮)の第一ホルン奏者として活躍後、指揮法とホルンを国立音楽大学、国立芸術音楽院音楽学及びソリストにて学ぶ。帰国後、指揮者として独立、指揮法を小澤征爾、秋山和朗、山田一雄、岩谷俊之、ワシントン・マラー、ジョージ・フレデリック・ヘネック(レニングラッド・フィルハーモニック)、藤原義雄(N)、守屋謙二(N)、松田正裕(N)、李承希(N)、周昇(N)、中華系音楽(N)、潮井祥子(N)、島井利枝子(N)、伊藤麻子(N)、高橋真由子(N)、森井公美子(N)、相賀賢二朗(N)、水谷川優子(N)、高橋真由子(N)、小池祐江(F)、大塚博史(F)、武田忠孝(C)、数原晋(Tp)、福川榮一(Tp)、青柳雅彦(Tp)、有森祐(Tp)、田中照子(P)、加藤かつら(P)、相澤理恵子(P)、深沢亮子(P)、本多君子(P)、濱浦由子(P)、須崎祐子(P)、中丸三千穂(S)、菅菜子(S)、佐藤美枝子(S)、玉藤さよ子(S)、川口雅史(N)、加藤ヒロユキ(N)、泉良平(Br)、金井隆子(S)、由紀さおり(歌手)、著名ソリストと共演。2011年12月、東日本大震災復興支援 / なかじし訳日本語による第九「歓喜の歌」(総プロデュース)に出演し、澤柳恵美(S)、山下牧子(A)、福井敬(Tp)、福岡明也(B)。東京ニッポン・シンフォニー管弦楽団「東京文化会館大ホール」を指揮し成功をおさめます。

NIPPON SYMPHONY 代表 / 音楽監督・常任指揮者。NOVON WIND SYMPHONY 代表 / 音楽監督・常任指揮者。RIYAL SYMPHONIC ORCHESTRA (株式会社アインゴ) 音楽監督・常任指揮者。計日市市民吹奏楽団音楽監督/日本指揮者協会会員、日本管打吹奏楽学会会員。21世紀オケフェス東映劇場ロケの会(芸術総監督/なかじし)代表 / 音楽監督、日映協会評議員、日映文化協会会員。(株)ミリオコンサート協会所属 / 代表 / 専任。

座右の書: 龍井蘭一郎「和古寺風物誌」我が国無常について、阿部伊都子: なはとげとの対話、ミチエコ「踊り狂想曲、ドマヌ・ア・ケンピス」キリストにならぬ男。

◆ 尾池亜美

Ami Ozaki, Violin

ヴァイオリン奏者。尾池亜美は日本を始めとしてイギリス、韓国、スイス、セビリア、中国など各地でリサイタルを開催するほか、江藤優樹ヴァイオリン・コンクール、日本音楽コンクール、RNCM マンチェスター国際ヴァイオリン・コンクールで第1位、また国内外で様々な賞を受賞し、国際的な舞台にのみならず、国内でも活躍中である。

2014年2月に最初のソロCD [French Romanticism] をリリース。「豊かで多彩な音色と滑らかな技巧で多様な人間感情を投影(カワレコード)」など好評を博す。またこれまでに、日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ジュエル交響楽団はかまぐさのオーケストラと共演。

レパニニはフランス音楽だけでなく、ハンガリーなど東欧やロシアの音楽、また近現代の音楽にも積極的に取り組む。演奏活動の傍ら、自身のCDに挿絵を描いたり、音楽情報サイト「Web アールド [a.cordes.com]」にて毎月曜日コラム「リパル・マンデー」監査を晴らし活動するなど活動は多岐にわたる。

東京では卒業する3歳よりヴァイオリンを叔母山下真澄の手ほどきのもと始める。5歳で入塾、8歳よりヴァイオリン・カペラに師事。帰国後、石井志都子氏に師事。東京芸術大学附属高校、東京芸術大学在学中、澤和樹・ジェラルド・ブルーレ、オレグ・クリサの各氏に師事(安室賞、同賞を受賞し卒業)。

ロンドン・ミュージックアカデミー・イン・ザ・シティの奨学生として渡欧。スイス・ロサンゼルス高等音楽院にてヒエール・アモリヤル氏のもと修士課程修了。英国王立文化芸術院(AI)でプロモコースを経て、2014年10月より明治安田文化財団の奨学生としてオーストラリア・グラーズ芸術大学に在籍。マイル・クレス氏のもとで研鑽を積んでいる。

◆ 草 冬 香

Fuyuka Kusa, Piano

東京芸術大学、同大学院修士課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学でピアノ課程およびソリスト課程をそれぞれ最優秀の成績で卒業、国家演奏資格を取得。

第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクール第1位、第10回大垣音楽祭最優秀新人賞、アルトゥール・レブティンゲン国際ピアノコンクール第1位等受賞多数。ブダペスト春の音楽祭、モーツァルト音楽祭、国内では経緯井八郎祭、ラ・フルル・ジュルネ・オ・ジャンボ「熱狂の日」音楽祭、ウィオラスペース、ハンガリーラジオ、NHK・BSクラシック倶楽部等に出演。またSWR(南西ドイツ放送局)にて、パハ等を録音。ソロだけでなく、室内楽においても意欲的に活動。今井信子氏をはじめとする著名な演奏家から信頼を得ている。

東京芸術大学非常勤講師を務めたが、現在は演奏活動の傍ら、洗足学園音楽大学附属音楽教室非常勤講師を務めている。これまでに、佐藤裕美、木村高貴子、鈴木久美、杉本安子、渡部有子、小林仁、伊藤恵、キルド・モシヨリの各氏に師事。

公式ブログ: <http://fliessende-fuyuka.cocolog-nifty.com/>

◆ 小林 夏菜美

Kanami Kobayashi, Piano

東京都出身、都立芸術高等学校(現総合芸術高等学校)を経て洗足学園音楽大学音楽学部ピアノコースを首席で卒業。卒業時、成績優秀者になる卒業演奏会に出演。第8回アールニール・コンクール第3位、第5回至聖・現代音楽コンクール銀賞(1位なし2位)、第6回国科音楽コンクール(入)東京好演奏(1位なし2位)、第13回全日本アールニール・コンペティションF級第4位・Premiere Final2銅賞、第14回日本演奏家コンクール第3位及び協賞、第14回大阪国際音楽コンクール第3位、第23回日本クラシック音楽コンクール第4位、第23回全日本ピアノコンクール第3位、在学中、平成23、24、25年度特別選抜演奏者に認定、及び前田記念奨学金奨学生に認定され、同奨学金を授与される。平成25年、川崎市によるザルツブルグ市への表敬訪問に参加、川崎市主催によるコンサート(川崎市民ホール・ミニ・ユ・ア・川崎)に出演。また、学内選抜によりジュリアン・音楽院研修生に参加、ジュリアン・マーティン氏のレッスンを受講。学内において客員教授小林仁、イム・チョンヒョン、江口瑠、長谷川裕各氏の特別レッスンを受講。また、客員教授安水樹・市野あゆみ両氏の特別レッスン合格者特別レッスン生による演奏会にも出演。現在、洗足学園音楽大学大学院1年在学中、フィンガートレーニングを渡部有子、ピアノを吉武雅子の各氏に師事。

◆ ピアノデュオ「ドゥオール」[藤井隆史 & 白永芳枝]

Deuor [Takashi Fujii / Yoshie Shiramizu]

公式サイト: www.yoshie-takashi.com

公式ブログ: <http://ameblo.jp/yoshie-takashi/>

04年にドイツにて結成後、国内外にて400を超えるステージを踏み、ピアノデュオを中心とした活動で高い評価を受けるピアノデュオ「ドゥオール」。

藤井隆史: 東京藝術大学付属音楽高校、同大学、同大学院(修了時ベートリッパ・リサイタル出演)にて植田完己、K・S・田代氏に師事。現在、武蔵野音楽大学講師。

白永芳枝: 兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京芸術大学卒業。空閑君子、井内澄子両氏に師事。現在、国立音楽大学、共立女子大学非常勤講師、文化庁、DAAD、野村国際財団の奨学生としてドイツ、マンハイム音楽大学大学院にてR・ペンツ、P・タン両氏に学び、ソロ科、ピアノ・デュオ科を最優秀修了。

各々ソリストとして国際コンクール入賞、東京文化会館(演進コンサート)などでのソロリサイタル、コンチェルト、放送出演など日々に活動。

ピアノデュオではロンドン、青山財団バロック賞、シュペル・ピアノ、ドラフノなど国際的賞を受賞。日本、欧米各地にてデュオリサイタルを開催し、国内では、文化庁芸術祭参加公演、NECガラコンサート、日本演奏選抜クラシックフェスティバル、トッパンホールシリーズ「Pianists」などに出演し、絶賛を浴びた。

NHK(BS、FM、ラジオ)出演。日本各地での講座の他、CDがレコード芸術誌にて特別選抜に選出。東京でのリサイタルが音楽の友誌「コンサート・ベストテン」に取り上げられ、同誌の「本誌読者賞」が選ぶ最優秀日本人演奏家、また週刊「音楽ジャーナル」特別賞「音楽ベスト5」にも選ばれている。今後益々期待されるピアノデュオである。

2014年には名古屋、東京、奈良、京都でのドゥオール結成10周年を記念したリサイタルが好評を博し、また4枚目CD「カルヴァラ」はレコード芸術誌特別選抜、音楽現代誌推薦盤、また月刊ソノバなどで高く評価されている。